



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町 志津南 NEWS

志津南ホームページ
http://waka-kusa.net/

発行
志津南地区自治連合会
連絡先
志津南市民センター
(公民館) 563-6206

平成21年度収支決算報告

歳入の部	決算金額
繰越金	228,438
会費	450,000
草津市社協補助金	1,039,970
自治連助成金	170,000
賛助会費 & 雑収入	120,797
合計	2,009,705

歳出の部	決算金額
市社協分担金	135,000
草津市社協補助金事業	1,042,716
高齢者仲間づくり事業	15,000
高齢者健康維持事業	120,987
子どもと高齢者のふれあい事業	85,000
子育て支援事業	155,000
敬老会・平和祈念助成金	145,876
ボランティア活動	49,184
予備費	26,842
合計	1,775,605
次期繰越金	234,100
総合計	2,009,705

市民センターで開かれた社協総会



志津南地区社会福祉協議会は、4月17日、志津南市民センターで平成22年度総会を開催し、今年度の収支決算報告を承認するとともに、会長に小野栄祐さん(若草5丁目)を選出、新たな体制で福祉のまちづくりを目指して活動していくことになりました。

地域福祉の目指すところは、地域の中に自分の居場所を感じ、安心して暮らしていける「住んでいてよかったと感じられるまちづくり」です。

今年度は、従来からの取り組みに加え「福祉のまちづくり」を目指して昨年度策定された福祉活動計画を推進していく初年度になります。活動は楽しく暮らせる、老いても健康な生活ができて、子どもたちが生き生き活動している地域づくりの三本柱の実現を目指して、3年計画を進めることにしています。

そのために今年度は、高齢者の生きがいづくりや要支援などの実態とニーズ把握などの住民アンケートを実施します。この結果をこれからの地域福祉活動に生かしていきます。

新会長に小野前自治連会長 新体制で福祉のまちづくりめざす

社会福祉協議会総会

志津南地区社会福祉協議会は、4月17日、志津南市民センターで平成22年度総会を開催し、今年度の収支決算報告を承認するとともに、会長に小野栄祐さん(若草5丁目)を選出、新たな体制で福祉のまちづくりを目指して活動していくことになりました。

そのために今年度は、高齢者の生きがいづくりや要支援などの実態とニーズ把握などの住民アンケートを実施します。この結果をこれからの地域福祉活動に生かしていきます。

団体代表者一覧

平成22年度の志津南地区各団体代表者は次の通りです。

- 町並み保存委員会 星野 眞直
- 社会福祉協議会 小野 栄祐
- 体育振興会 中本 勝三
- 同和教育推進協議会 中島 清明
- 青少年育成区民会議 鈴木 洋平
- 自主防災連絡会 結城 隆之
- 子ども会 西脇 達
- 老人クラブ若寿会 奥田 隆三
- 民生児童委員協議会 林 茂
- 健康推進員協議会 蟹江久美子
- 交通安全会 一ノ口哲夫
- 地域安全連絡協議会 粕谷 利光
- 広報委員会 津田 英二
- 草津栗東交通安全協会 渡邊 安之

活動に生かしていきます。なお、今年度から社協構成員として、各町内の社会福祉部長以外に7人の福祉委員が誕生し、いっそう地域に密着した活動が行える体制を整えました。今年度の主な事業、新三役は次の通りです。

- 会長 小野 栄祐
- 副会長 八崎 誠治
- 副会長 上田 恒章
- 役員 平和記念講演 敬老会 子育て支援 ふれあい喫茶の運営
- 高年齢者仲間作り生きがい活動 高年齢者の健康維持 子どもと高年齢者のふれあい

福祉基盤強化
福祉の土壌づくり
ふれあいサロン
高齢者援助活動
活動の担い手づくり
住民福祉活動計画の推進
花・環境・緑・安全ボランティア活動の推進と支援

新一年生は63人

志津南小で入学式



桜の花も満開の4月8日、志津南小学校の第24回入学式が同校体育館で行われ、

式が同校体育館で行われ、式した。写真。青く澄んだ空、花壇の花々に迎えられ新入生63人が笑顔で校門をくぐりました。

新任の橋川礼子校長から「あたたかい陽ざしに小鳥たちも春よ春よと歌い、みなさんはワクワクドキドキしながら待っていたことでしょう！おめでとつ」と緊張を和らげるように笑顔で

呼びかけると、真剣なまなざしの新入生の顔にも笑みが見られました。橋川校長は続けて「魔法の言葉」として「おはよう、こんにちは、ありがとう」は心が温かくなり、「さようなら」は明日も元気になる、そして「ごめんなさい」と言えたら、もやもやした心がすっきりする、など、あいさつの大切さを優しく訴えました。

また保護者に対しては、「一日の出来事を眼と眼をあわせしつかり聞き、毎日の積み重ねが明日につながるっていく継続の大切さ、学びが生きる教育の推進をめざします」と抱負を述べました。

次に梶原信也PTA会長からは「自分のことは自分で出来るように」と励ましの言葉が贈られました。新入生を代表して二人が真新しい教科書を受け取った後、在校生が「くじけそうになった時はそばにいてささえてあげるよ」

くるみ保育園でも入園式

志津南小より一足早く若草くるみ保育園の入園式が4月3日に行われ、緊張気味な面持ちの26人が集団生活の第一歩をスタートさせました。片島京子園長が「たくさんお遊びができますよ」と話しかけたあと、保護者には「昼間のお母さんとして、自立、自主、忍耐が身につくようにお育てしていただきますのでご家庭でも生活習慣を身につけて欲しい。ともに頑張りましょう」と、祝辞とともに働くお母さんにエールを送りました。

志津南地区社会福祉協議会、ボランティア部環境美化グループが4月3日、牟礼山りょうぶの道上り口付近を清掃。写真、あわせてひと足早いお花見を楽しみました。「ちょうどいい運動になりました」、「町内放送を聞いたので」と飛び入りの協力者と一緒に落ち葉や松葉を取り除き、さっぱりとしたところで、7分咲きの桜を眺めながらお花見。朝方の晴天が曇り空に変わり肌寒くなったせいも、思ったほど参加者が集まらず、いささか寂しいお花見となりましたが、樹下では10人あまりが「馳走？を囲んで歓談、楽しい時を過ごしました。お花見は毎年の恒例にしたいと思っています。来年は多くの方が参加してくださいよう環境美化部員一同、心よりお待ちしております。



花見を兼ねて清掃

新学期から志津南小学校長に就任した橋川校長に一文を寄せていただきました。

xxx

入学式を終え、百花繚乱美しい季節の始まりとともに、子どもたちが新しい目標に向かって、動き出しました。どの教室にも活気のある声、頑張ろうという意欲がみなぎっています。

一年生たちは、廊下を行ったり来たり、よその教室をのぞいたり…。これから始まる「学校たんけん」の先行体験でしょう。好奇心が子どもをつき動かしています。

さて、今年度の合い言葉「あたりまえのことがあたりまえにできる」とは、子どもには教えがあり学びがあつて身につくものです。子どもが学びを自分のもの



志津南小学校校長

橋川 礼子

(そつたく)

「あいさつ」は、人間関係が希薄になっているといわれる今の時代だからこそ、大切な言葉です。見守りと励ましがあつて、子どもが自分に自信を持ち、次の学び喜びに広げていたりするものです。

あたりまえのことにあたりまえに

社会人としてのマナーとしてだけでなく、友達をつくる、心と心を繋ぐ、自分を開き人に学ぶ、助けを求めるのも、「ここから始まります。」「学習の準備ができる」「見通しを持つ」ことも、次に大事にしています。そ



緊張気味の新聞見たち

トンちゃん一座と遊ぶ



含め45人。

風船のスヌーピーや魚などが飾られた会場に入ってきた参加者はびっくり。そこへ赤い鼻をつけたトンちゃんとなん平くんが登場すると、大きな拍手と歓声があがりました。初めに、トンちゃん一座が訪問した福祉施設や病院などのお話があり、その後、風船飛ばしなどで遊び、心と体が開放されたようでした。

今年度最初の「やすらぎ学級」公開講座が4月28日、市民センターで、「愛と笑いで心を癒す」と題して開催されました。参加者は学級生のほか、親子連れも

ました。次に、一人一つの風船を二つに結び、さらに四つに組み、それがトンちゃんの「赤い風船を持ってきて」、「青い風船を持つ

てきて」の掛け声とともに大きなイモムシができました。トンちゃんの優しい笑顔、みんなの笑い声、温かい気持ちで満たされた講座になりました。

地域協働合校が新年度事業決める

志津南地区地域協働合校推進委員会は4月14日、志津南市民センター（公民館）で、わんぱくプラザ南っ子実行委員会と今年度第一回の合同委員会を開

催し、各種事業などについて審議しました。委員会で平成21年度の事業、決算報告に続いて今年度の役員を選出。基本方針を『子どもと大人の協働「共育ち」を進める』と確認したあと、志津南地区地域協働合校推進委員会とわんぱくプラザ南っ子実行委員会が昨年と同様に歩調を

なお、「やすらぎ学級」では、引き続き、受講生を募集していきます。年会費は、千円です。皆さんのご参加をお待ちしています。

合わせて事業に取り込むことを申し合わせました。今年度の事業計画は次の通りです。それぞれの詳細については今後検討することとしています。

- 5月 ろつそく作り体験
- 6月 ホタルに会いに行こう
- 7月 自分の安全について考えてみよう
- 夏まつりに参加しよう
- 8月 南っ子宿泊体験
- 10月 ハロウィンパーティ
- 11月 館外研修
- 12月 昔の正月遊びを楽しもう
- 2月 もちつき大会
- 年間 美しい街並みを作ろう

新役員は次の通りです。

委員長	岩井 淑郎
副委員長	粕谷 利光
委員	梶原 信也
	小野 栄祐
	鈴木 洋平

砂場に柵、フン締め出し

若草東児童公園（2丁目）の砂場にこのほど、犬猫の侵入を防止する鉄製の柵が設置されました。写真。同公園の砂場が犬や猫のフンで不衛生になっていくことから、子どもたちが安心して砂遊びができるよう犬猫をシャットアウトしようというものです。



この砂場は長年放置された状態で砂が硬くなっており、さらには猫や犬のものと思われるフンで不衛生な状態でした。このため、子どもたちが遊ぶこともできず、せつかくの砂場が無駄になっていました。そこで砂場本来の姿を取り戻して砂遊びを楽しめるようにしたいと、竹中秀樹前町内会長が市に相談したところ、高さ80センチの柵が設置されました。これにあわせて、水はけを良くし、砂も入れ替えられ立派な砂場に生まれ変わりました。

利用者の保護者からは、「これで安心して子どもに砂遊びをさせられます」と感謝の声が届けられました。

中本 勝三	喜田 久子
垣根 和子	塚本 和代
丸山 和子	政川 純子
西脇 達	片岡 文子
萩原 常雄	岡本 寿幸
海部 三徳	鶴田 逸朗
谷口 賢	長谷川佳子

